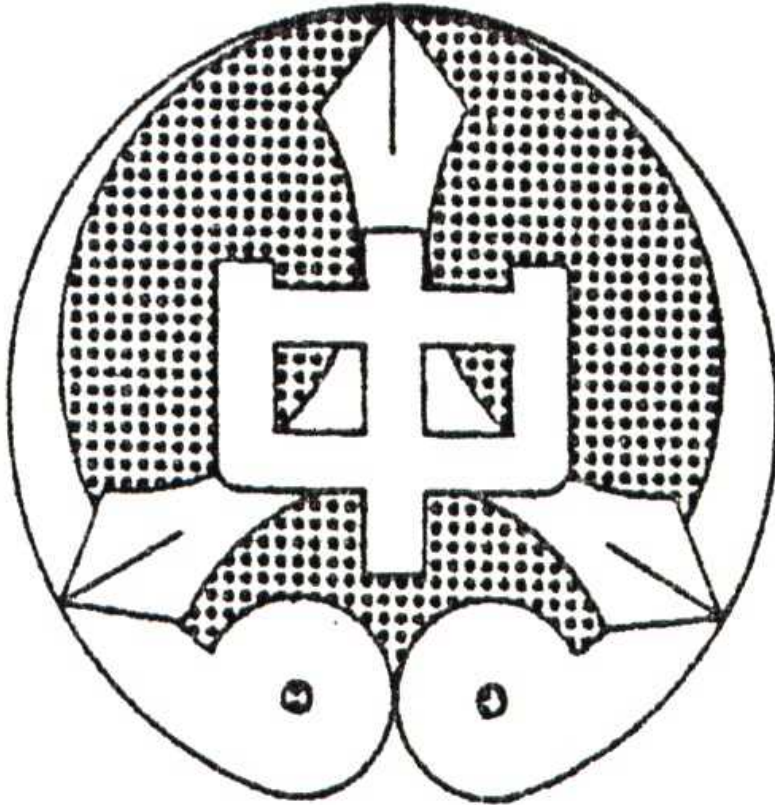


嵐山町立玉ノ岡中学校 校章



校章の由来

嵐山町大字杉山の玉ノ岡（地名）に昭和59年4月、玉ノ岡中学校が開校。

七郷中が廃校となり、菅谷中との分離統合という形で設立されたが、これを機に町では町民に校章の募集をし、そして多数の応募の中から杉山の内田敬先生の図案が採用。

勾玉（まがたま）を左右に配して「玉ノ岡」を表し、中央の3つのペン先は「知育、徳育、体育」と調和のとれた人格完成を目指す意味をもち、空間に散りばめた点は生徒を表している。

開校記念日 6月29日

本校の開校記念日は6月29日。この日はくわ入れの日、つまり、建設地の整地を開始した日であるため、開校記念日とした。